

市報

とどろ

今号の内容

CONTENTS

あらためて地震に備える …… 2



鳥栖市地域振興財団職員を募集 …… 3

成人式・945人の門出祝う …… 4

小石くんが全国高校サッカーで活躍 …… 6

サンメッセ鳥栖で文化財成果展 …… 8

2月19日から税の申告相談 …… 9

いけいけ！フューチャーズ「パルデス加入」 …… 11



田代小児童がもぐら打ち

田代小学校3年生児童86人が1月12日、校舎前の花壇で「もぐら打ち」を体験しました。児童らは社会科で昔から伝わる行事を勉強。この日は竹とわらで作った道具で「ねぎだれ、きゃーだれ、14日のもぐら打ち、祝わんせー、…」と元気に歌いながら地面をたたきました。

2 平成8年 No. 799
1日号

あれから一年

あらためて地震に備える

六千三百人余りの犠牲者と甚大な被害をもたらした「阪神・淡路大震災」の発生から一月十七日
で一年。新聞やテレビなどでも伝えられていると
おり、今もお約九万人の方が仮設住宅で不自由
な生活をいられています。
この大震災から学んだ教訓を生かすため、全国

市地域防災計画を見直し

市では、風水害対策を軸としてきた防災体制を見直し、このほど「鳥栖市地域防災計画」の一部修正を行いました。

昨年七月には県の地域防災計画が初動態勢、指揮・命令系統の再点検といった見直しが行われており、市も同様の体制を整えることで、県と連携した迅速な災害への対応を目指しています。

主な修正の内容は次のとおりです。

■災害対策本部の設置基準の見直し

これまでの「市長が必要と認めるとき」に限られていたものを「市内で震度6以上の地震が発生した場合は自動的に設置する」と設置基準を追

加しました。

■初動態勢の確立

災害対策本部が機能するまでの間、通信機材の確保や被害情報の収集などを行う市職員から成る緊急初動班を設置、初動態勢を整備しました。

■災害対策本部、所掌事務の

まず、身の安全を守る

慌てて外へ飛び出さない

大きな揺れを感じたら、まザテールブルなどの下に身を隠しましょう。座布団などがあれば、頭部を保護してください。慌てて外に飛び出すと、看板や窓ガラスの破片などの

各地でさまざまな防災対策が進められています。しかし、これと併せて重要なのは、やはり私たち一人ひとりの地震に対する心構えです。いつ、どこで起きても不思議ではない地震に備え、その対処法と日ごろの備えについて、もう一度確認してみましょう。

見直し

指揮・命令系統、本部機構、市役所各課の事務分担について再点検、組織の見直しを行いました。

■ヘリポートの選定

災害時におけるヘリコプター臨時離発着所に市役所、鳥栖西中学校グラウンド、基山町営球場など市内外の六か所を選定しました。

また、目の前でガス器具やストーブなどを使用している場合は、素早く火を消します。

消火のために別室に行かなければならない場合は、揺れが収まってからにします。万一出火したときは、消火器や三角バケツなど消火用具を使い火の小さいうちに消し止めるように。隣近所も確認し、みんなで協力して初期消火に努めましょう。

危険なところから遠ざかる

狭い路地の堀ぎわなどは、瓦が落ちてきたり、ブロックが崩れてきたりするので、素早くその場から遠ざかります。また、浜辺にいて強い地震を感じたときは、津波の危険性があるので、急いで高台などに避難します。がけ崩れの起



昨年1月17日に起きた阪神・淡路大震災の様子。
火災で焼失した街、倒壊した家屋、2階部分が
押しつぶされたビル(昨年2月17日市職員撮影)



こりやすい山のきわや川べりにも注意しましょう。

避難は必ず徒歩で

避難するときは必ず徒歩でしましょう。服装は活動しやすいもので、また荷物は最低限必要なものにとどめ、なる

「いざ」というときのために

家の内外を点検しよう

ブロック塀などの倒壊の原因は、基準どおりの鉄筋が入っていないかったり、転倒防止

べく背負うようにします。正しい情報を入手するため市役所、消防署、警察署やテレビ、ラジオからの情報には絶えず注意します。負傷者がいる場合、軽いけがの処置は、みんな協力して応急手当てをしましょう。

の控壁がなかったりなど施工上の欠陥によるものが多いので、点検しましょう。家の柱など老朽化しているものは補強。家のなかではテレビやタンスなど家財道具を固定し、

ガラス戸が割れて飛び散らないように飛散防止フィルムなどを張ります。

消火用具はすぐ使えるところに

消火用具は使いやすいたところに置きます。消火用水として常に浴槽には水をはっておくことも忘れなく。非常持ち出し品としては救急箱、衣類、手袋、毛布、ヘルメット、携帯ラジオ、食品(インスタントラーメンなど)、水、缶切り、ライター、ナイフ、懐中電灯、ロウソク、現金、通帳、印鑑などを用意しましょう。

防災訓練に参加しよう

いざというときに、消火器の使い方もわからないのでは何もありません。地域や消防署などで行われる防災訓練に積極的に参加し、日ごろから防災に関する行動力を身につけておきましょう。

家族で防災会議を開こう

大地震が起こったときに備え、ふだんから家族で次のことを話し合っておきましょう。①家の中でどこが一番安全か



一昨年、消防署で行われた消火実演

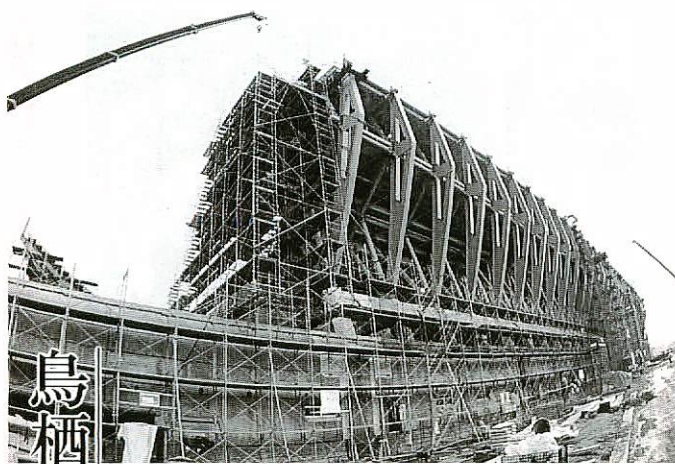
②幼児やお年寄りの避難はだれが責任を持つか③避難場所避難路はどこか④避難するときだれが何を持ち出すか⑤非常持ち出し袋はどこに置くか⑥家族間の連絡方法と最終的に落ち合う場所はどこにするか――などです。

鳥栖市地域振興財団 職員を募集

JR鳥栖駅東側に今年五月の完成を目指している鳥栖スタジアム(仮称)と市民公園内の体育施設の管理・運営やこれらの施設を活用した地域活性化事業を展開するため、近く設立を予定している(財)鳥栖市地域振興財団の職員を次のとおり募集します。

採用予定人員 事務員A・B・C、技術員のいずれも一人
受験資格 事務員A 昭和三十八年四月二日から同五十二年四月一日までに生まれた高校生卒業以上の者または今年三月卒業見込みの者 事務員B 昭和三十八年四月二日から同四十八年四月一日までに生まれた高校生卒業以上の者 事務員C 昭和三十八年四月二日から同四十四年四月一日までに生まれた高校生卒業以上の者 事務員A 昭和三十八年四月二日から同四十八年四月一日までに生まれた高校生卒業以上の者 事務員B 昭和三十八年四月二日から同四十四年四月一日までに生まれた高校生卒業以上の者 事務員C 昭和三十八年四月二日から同四十年四月一日までに生まれた高校生卒業以上の者

で生まれた高校生卒業以上の者または今年三月卒業見込みの者で、電気・土木・造園のいずれかの知識、技能を有する者
勤務時間等 勤務時間は午前八時半から午後十時までの交替勤務で、休日は毎週月曜日(日曜日と国民の休日は勤務日となりません)
第一次試験 二月二十五日(日)午前九時半、鳥栖市役所(教養試験のみ)
第二次試験 三月上旬を予定(作文、面接、適性検査など)
採用予定日 四月一日以降
受験手続き 申込用紙の請求 鳥栖市役所総務課で配布し



鳥栖スタジアム等の管理・運営

問合わせ 鳥栖市役所総務課(〒841鳥栖市宿町一八一八番地 ☎3504)



旧友との再会で話も弾み
喜びあう新成人

成人式

945人の門出祝う

恒例のロードレース大会も

成人の日の一月十五日、鳥栖市成人式が市民文化会館で開かれ、昨年より七十八人少ない九百四十五人（男性四百五十六人、女性四百八十九人）が大人の仲間入りをしました。式典では山下乡長が代表の平野雅也さん（加藤田町）に記念品として、映画「月光の夏」のモデルになったピアノ

「フッペル」のテレホンカードを手渡したあと「やがて到来する二十一世紀のリーダーとなるみなさん！これからの鳥栖市は自分達の手で支え、作り上げる気概を持ち、今日を契機にして大きく躍進してください」と激励しました。新成人を代表して内山美季さん（立石町）、宮内和香子さん（轟木町）、野口明弘さん（蔵上町）が決意を発表。内山さんが「二十歳を契機にさまざまな自由が約束されますが、自由には絶えず責任がついてまわることを自覚することも私たちに課せられた義務。自分の全ての行動に責任を持つことから始めたい」と、また宮内さんは「私たちには『若さ』という宝があり、『フアイト』も旺盛です。『何事にも挑戦』という積極性を持って自分を磨き、夢を実現するため精一杯頑張ります」と述べる一方、

野口さんはギターを片手に歌によるメッセージを伝え、会場を盛り上げました。会場周辺には式典終了後も新成人があふれ、旧友との久しぶりの再会を喜びあっていました。

また、正午からは恒例のロードレース大会が開かれ、鳥栖筑紫野バイパスをコースに市内外の老若男女千三百三十三人が健脚を競いました。なお、大会成績は十ページに掲載していますので、ご覧ください。

防式 一年の無火災祈る

新春を飾る恒例の消防出初式が一月七日、市内五分団本部から消防団員約三百二十人が参加して市役所前広場で行われました。

午前九時から鳥栖工業高校プラスチック部を先頭に団員、消防自動車、ハシゴ車、ポンプ車などが鳥栖駅前から市役所まで市中行進したあと、市役所前広場で山下乡市長や宮原市議会議長らが団員、機械器具類を検閲。続いて、ポンプ車が空に向け一斉に放水し、五色のアーチを描きました。



青空に舞い上がる五色放水

式典では山下乡市長が「消防精神を堅持し、新たな決意をもって一層精進してください」と団員らを激励。火災の早期発見と初期消火に努められた一般協力者や、優良団員の表

彰などを行い、最後は参加者全員で火の用心三唱をして、今年一年間の無火災を祈りました。昨年市内での火災件数は二十九件（のうち高速道路での車両火災が二件）、五千六百二十七万七千円分が灰となり、一昨年を上回りました。

ガイドヘルパー養成講座

介護技術など学ぶ

視力障害者の介助のための知識、介護技術を学ぶ「ガイドヘルパー養成講座」が十一月二十二日から十二月十八日まで、計四回にわたって社会福祉会館で開かれました。

同講座は市社会福祉協議会が進める「ふれあいのまちづくり事業」の一環で、主婦など十二人が受講。筑紫野市ガイドボランティア「道しるべ」代表の原清女さんの指導で、階段やトイレなどでの誘導の



エスカレーターでの誘導法を実習する受講者

基本、交通機関の利用・買い物時の介助法などを学びました。最終日は市内のスーパードエスカレーターに乗る時の誘導法を実習。一人がアイマスクをし、二人一組でエスカレーターに乗った参加者は出てくる階段に足を踏み出すタイミングなどに苦勞していました。修了証書を手渡された受講者はガイドヘルパーとして九州で三番目となるボランティアグループの結成を決め、具体的な活動内容なども今後話し合うことにしています。



緒方選手(カブ)が記念植樹

少年野球連盟にカップとボール贈る

鳥栖高校出身でプロ野球・広島カープの緒方孝市選手がセ・リーグ盗塁王、ゴールドグラブ賞を獲得したのを記念して十二月十七日、市少年野球連盟に優勝・準優勝カップ、ボールなどを贈り、併せて市民球場北側に記念植樹をする緒方選手(中央)ら

にニダースずつが贈られました。贈呈式では緒方選手から平塚元・連盟会長に優勝カップなどが手渡されたあと、チビッ子らも参加して紅白のハナミズキと広島県の県木・モミジを植樹。緒方選手は出席者らとの記念写真にも心よく応じていました。また、同日夜にはタイトル獲得などの祝賀・激励会がホテルビアントスで開かれ、会場は五百人を超す市民やファンで埋まりました。この席上で緒方選手は「プロでも一年でも長く元気にプレーしていることがみなさんへの恩返しになると思っております。来年からは背番号が「39」から「9」に変わります。これからも応援をお願いします」とあいさつ、大きな拍手を浴びました。

特選ビジネスコンテスト

クリエイイトが見事第1位に

押し花材料を製造、全国の押し花教室などに販売する幸津町の(株)クリエイイト(豊増康生社長)が製作した「フラワースタンド」「フラワーついで」がこのほど、全国の地方銀行でつくるベンチャーリンク主催の東京ビジネスサミット「特選ビジネスコンテスト」で見事第一位に選ばれた。

十一月十五、十六日の両日、東京科学技術館で行われた同コンテストには情報通信、環

境、住関連などの分野から全国の中堅中小企業百八十五社が新商品、アイデア商品を出展。クリエイイトの出した作品はデザイン和紙に押し花を張りつけ、スタンドとついでに加工したものです。豊増社長は十四年前に脱サラした後、昭和六十年に会社を設立。独学で植物や樹脂の構造、特性などを研究し、押し花の退色を防ぐための独自の乾燥・保存技術を開発しました。

生活に密着したものに美しい自然の草花を取り入れよう」と、これまでもガラス表面に樹脂で押し花を封じ込めたコップを試作したほか、現在は、木材に押し花を圧着し表面を樹脂で特殊加工した「フラワーボード」を開発中。これらの技術は家具類や建築資材として幅広い利用が可能で、全国からの引き合いも相次いでいます。



第1位となったフラワースタンドを前に豊増社長

元気な演奏を披露する園児



めぐみ保育園に鼓笛隊セット

(財)日本防火協会からめぐみ保育園(村田町)の幼年消防クラブに鼓笛隊セットが贈られ、十二月二十二日同園で贈呈伝達式が行われました。贈られた鼓笛隊セットは大太鼓、小太鼓、シンバル、ピ

アニカなどの楽器のほか、ベストとベレー帽四十人分。日本防火協会が幼年消防クラブ育成のために毎年贈っているもので、今年はめぐみ保育園を含め県内で二保育園。市内ではこれまで小鳩園と白鳩園

に贈られています。伝達式では仁田利勝助役が「この鼓笛隊セットには、みなさんが健やかで仲良く元気に育ってもらいたいという願いもこめられています。長く大切に使ってください」とあいさつ。水谷了智園長が「今後も子供たちに火災予防について教えていきたい」とお礼を述べました。最後は保護者が見守る中、園児らが防火の誓いを暗唱したあと、真新しい楽器で演奏。元気に「勇気一〇〇%」などの曲を披露しました。

全国高校サッカー 東福岡のベスト4入りに貢献

小石 龍臣くん (18歳、桜町)



十二月三十日から一月八日まで東京で開かれた第七十四回全国高校サッカー選手権大会に福岡県代表・東福岡高校チームのミッドフィルダーとして出場。2得点、1アシストを挙げるなど同校のベスト4入りに大きく貢献しました。準決勝ではサッカーをして

いる者ならだれもが夢みる国立競技場で静岡学園と対戦。入場する時は足が震えました。でも、いざ試合が始まるとプレー一つひとつにわき上がる大歓声をバックに、何をやるでも楽しかったし、日ごろできないドリブルも決まりました」

て、練習を終えて帰宅するのは夜九時を回るといふ毎日。「自分なりにサッカーには自信があるつもりでしたが、特待で入学してきた同級生のプレーを見て、その技術の高さに度肝を抜かれました」

あんひと

こんひと

④2

チーム内は上級生、下級生の区別なく、完全な実力主義。つらいことを何度も経験しながら、

では学校にサッカー部がなく、高校でやるための準備に、と陸上部やバスケット部に入って体を鍛えました。高校進学ではとにかくサッカーが強い学校へと、福岡の強豪・東福岡高校に入学。それから家は朝六時過ぎに出

たのは一生の思い出。プロでやってみたい気はありますが、実力はまだまだですよ」と屈託のない笑顔でこたえます。



二人三脚で頑張る横枕さん夫妻

農業

新時代

△57△

「試行錯誤繰り返し返し苗作り30年。土作りと温度管理で一級の苗育成」

「ポットから苗を抜いても泥が落ちないくらいに根がびっしり張っているので、定植後も野菜がよく育ちますよ」と、苗作り三十年の横枕久次さん(74歳、永吉町)。妻の喜恵子さん(71歳)と二人で、

二棟のビニールハウスにナスやトマトなど合わせて十五種類、約一万三千株の野菜苗を作っています。「もともとは自家用に苗を作り、余ったものを知人らにわけてやる程度でしたが、そ

の苗が好評で、わけてくれ」という人が年々増えました。「いい苗を作るには土作りと温度調節が大切。苗の種類によって温度の適温も様々で、毎年、その年の経験を日誌に書きとめ、試行錯誤を繰り返しました。種子が発芽するまでは温床に電熱線を埋めて温度を管理。発芽後は馬糞と白ワラを交互に踏みこんだ温床に移植して育てます」

ハクサイ千三百株などの野菜を栽培し、すべて鳥栖青果市場に出荷。横枕さんのハクサイは通常の一・五倍から二倍の大きさ、ナスも青果市場始まって以来の最高値をつけるほどで、仕入れ業者からは粒ぞろいで安心して買えると高い評価を得ています。「若ければもつと苗の注文に応じたいのですが、これ以上は無理。今の顧客を大切にしていきたいですね」

中経所 まさぶ

③4 経済部商工課商工観光係 牛嶋 英彦



商工観光係では、小口資金融資や営業証明発行など商業全般の育成指導、企業誘致、キャンプ場などの観光地の整備・管理、祭りやイベントの支援などを行っています。現在、「サツポロビールを飲んで新九州工場を鳥栖へ!!」を合言葉にした誘致活動と、七月十九日から始まる夏の博覧会の推進に頑張っています。

「ねずみといたち」

今年（ねむし）は子歳。干支（えいば）でいけば子（ねずみ）は一番目、十二年という区切りのスタートにあたる。また鼠（ねずみ）の多産（たさん）ぶりから連想（れんさう）して子孫（こそん）繁栄（はんえい）の年ともいわれ、雑誌（ざっし）等（ら）には鼠（ねずみ）特集（とくしゅう）が多（おほ）かった。西洋（せいやう）では、ベスト（ベスト）などの禍（わざ）をもたらすものとして疎（そ）まれてきたが、日本（にっぽん）では「鼠（ねずみ）の嫁（よめ）入り」や「おむすびコロリン」など楽しい民話（たみのわ）が残（のこ）されている。私も（わたし）小学校（しょうがっこう）の教科書（きょうこしょ）で習（まな）った

「ねずみのよめいり」が忘れられない。この民話（たみのわ）は一人娘（ひとりむすめ）の鼠（ねずみ）の婿（むこ）探しで、最初（さいしょ）世界（せかい）で一番（いちばん）偉（たか）い花婿（かむこ）候補（こうぼ）に太陽（たいやう）を考えた（かんが）が、眩（くら）し過ぎ（よぎ）るとして月（つき）を選（えら）んだもの（もの）の月（つき）は雲（くも）が強い（つよ）といい、雲（くも）は風（かぜ）、風（かぜ）は壁（かべ）、壁（かべ）は鼠（ねずみ）にかなわない（かな）として結局（けいこく）鼠（ねずみ）が世界中（せかいじゅう）で一番（いちばん）強い（つよ）ということになり鼠（ねずみ）の嫁（よめ）になる（なる）という内容（ないよう）である。振袖（ふりそで）と紋付（もんづけ）はかまの可愛い（かわいい）鼠（ねずみ）のカップル（カップル）の絵（え）

が今（いま）も脳裡（のうり）にやきついている。ところ（ところ）でわが家（うち）は旧式（きゅうしき）の木造（もくぞう）で、鼠（ねずみ）や猫（ねこ）の出入（でいり）自由（じゆう）で、従（したが）って色々（いろいろ）とハブ（ハブ）ニングもあつた。三年（さんねん）程（ほど）前は（まへ）いたち（たち）に悩（なや）まされた（された）。聞き（き）なれない屋根（やしね）裏（うら）の足音（あしな）ミ・ミ・ミ・ミ・ミという声（こゑ）が、いたち（たち）の子（こ）の声（こゑ）と気（き）づくまで相当（さうたう）時間（じかん）がたつていた。なんと（なんと）改（かい）造（ぞう）をした（した）一階（いっかい）と二階（にかい）の間の断熱材（だんねつざい）をベツドとし、トイレ（トイレ）は七（なな）、八（はち）も

離れた（離れた）玄關（げんかん）の天井（てんじやう）裏（うら）に設（た）けるという巧（たくま）みな生活（せいかつ）をして（して）いた。夜（よ）ともなると、寝室（ねしつ）の床下（とこ）からいたち（たち）の声（こゑ）がするし、玄關（げんかん）の天井（てんじやう）からはいたち（たち）のおしつこが落ちてくる（おちてくる）という、全（ぜん）くお手（て）あげ（あげ）の状況（じやうきやう）であつた。駆除（くど）を誰（たれ）に頼（たの）んだもの（もの）かと思（おも）案（あん）しながら眠（ね）りについたらある晩（ばん）、夢（ゆめ）の中（なか）にいたち（たち）の親分（おやぶん）が出てきた（でてきた）。鼠（ねずみ）の嫁（よめ）入り（いり）のとき

の忠助（ちゆうすけ）のように紋付（もんづけ）はかま姿（かまざ）であつた。永（なが）い間（ま）お世話（せわ）になりました（なりました）が、明日（あした）引越（ひっこ）します（します）という。私（わたし）が行（い）き先（さき）を尋（たず）ねると「河内（かふち）」という。そして翌（あした）日からいたち（たち）が完全（かんぜん）にいななくなつた。嘘（うそ）のような本（ほん）当（あた）りの話（わ）である。後（のち）始末（しやうまつ）が大（おほ）変（へん）だつた（だ）が、いたち（たち）の一家（いっか）は果（は）たして今（いま）どこ（どこ）に住（す）んでいる（る）のであろうか。私の（わたしの）故郷（こきやう）河内（かふち）の廃屋（はいおく）かな等（ら）と思（おも）つたり（たり）している（る）のだが…。（山下（やまの））



「夫婦（夫婦）でいつまでも」と楠（楠）さん夫婦

始め（はじめ）ました。以来（いらい）、走る（はし）ることの楽（たの）しさに引き込（ひきこ）まれ、今（いま）では京都市（きょうとし）のシティーマ（シティーマ）ラソン（ラソン）をはじめ（はじめ）全国の（ぜんこく）十（じゅう）を超（こ）える

「おかげで病（びょう）気（き）もほとんど（ほとんど）しません。大会（たいかい）では順位（けんい）やタイム（タイム）にこだわ（たわ）らず（らず）完走（かんそう）を目指（めざ）しています。九十（こじゅう）歳（さい）で現役（げんぎやく）の中富（なかつとみ）会長（かいじやう）を目標（めく）に夫婦（夫婦）でいつまでも走（は）れる（る）といいですね」

「コース（コース）を走（は）っている時（とき）のつらさもゴール（ゴール）に入（い）ったとた

を鍛（た）えようと一（いっ）緒（しょ）に走（は）り始め（はじめ）たのをきつかけ（かけ）にマラソン（マラソン）を

毎日（まいにち）の練習（れんしゅう）はお互（おたが）い仕事（しごと）を持（も）っているため別々（べつべつ）。敏（とし）さんは宝満川（たからみづがわ）や河内（かふち）ダム（ダム）まで往復（おうふく）十数（じゅうすう）回（かい）を、悦子（えつこ）さんは商工（しょうこう）団地（だんち）内（うち）を五（ご）、六（ろく）回（かい）走（は）ります。

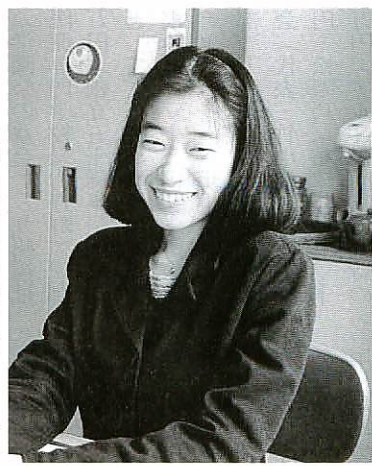
Viva! ヒバ
スポーツ ⑤④

祝成人（しゆじん）ロードレース大会

夫婦（夫婦）そろって16年（じゅうろくねん）連続（れんじゆ）出場

ん全部（ぜんぶ）忘れて（わす）れ、気分（きぶん）爽快（すわい）です。一月（いちげつ）十五日（じゅうごにち）に開（ひら）かれる恒例（こうれい）の祝成人（しゆじん）ロードレース大会（たいかい）に夫婦（夫婦）で十六年（じゅうろくねん）連続（れんじゆ）出場（しゅつじやう）した曾根（そね）崎町（さきまち）の楠（楠）敏（とし）さん（57歳（さい））と悦子（えつこ）さん（56歳（さい））。二人（ふたり）は二十（にじゅう）年前（ねん）前（まへ）、す

ぐ風邪（かぜ）をひく息子（こゝし）の体（てい）を鍛（た）えようと一（いっ）緒（しょ）に走（は）り始め（はじめ）たのをきつかけ（かけ）にマラソン（マラソン）を



鳥栖（とりせ）青年（せいねん）会議（かいぎ）所（じよ）勤務（くむ） 紫村（むらた）奈津（なつ）さん（21歳（さい）、今泉（いみづ）町（まち））

さわやかさん ③④

（社）鳥栖（とりせ）青年（せいねん）会議（かいぎ）所（じよ）は市民（しみん）レベル（レベル）で青少年（せいせうねん）の健康（けんこう）全（ぜん）育成（せいじく）や環境（かんげい）問題（もんだい）、まちづくり（まちづくり）に取り組（と）む団体（たいたい）で一（いっ）昨年（さくねん）に創（つく）立（り）三（さん）十五（じゅうご）周年（しゅうねん）を迎（むか）えました。鳥栖（とりせ）商工（しょうこう）会館（かいがん）内（うち）に事務（じむ）所（じよ）を置（お）き、現在（げんざい）在（ざい）会（かい）員（いん）は二十（にじゅう）歳（さい）代（だい）から四十（しじゅう）歳（さい）まで（まで）の五（ご）十八（じゅうはち）人（にん）。

ロサッカー（サッカー）チーム誘（まね）致（せい）などに取（と）り組（く）みまし（まし）た。私（わたし）は経（けい）理（り）のほ（ほ）か、催（も）いの案内（あんい）、会（かい）員（いん）の方（かた）への連絡（れんらく）などが主（ま）な仕事（しごと）です。演（えん）劇（げき）に興（きょう）味（み）があり、高（たか）校（こう）時代（じだい）から劇（げき）団（だん）「怒（いか）幻（げん）鳥（とり）栖（せ）都（と）」に所（じよ）属（ぞく）、仕事（しごと）を終（お）えれば練（れん）習（じゆ）で汗（あせ）を流（なが）します。鳥栖（とりせ）は今（いま）のど（ど）か（か）な雰（ふん）囲（い）気（き）がいつ（いつ）ま（ま）でも変（へん）わら（わ）ない（ない）とい（い）い（い）です（す）ね。

保健

母と子の遊びの教室

保健センターでは、親子で楽しく遊ぶための「母と子の遊びの教室」を開きます。

子どもは一歳半を過ぎるころから運動能力も活発になってきます。この時期にお母さんと一緒に遊ぶことは言葉を学び、豊かな感性を育むためにも大変重要です。

お気軽にご参加ください。とき 二月二十一日(水)午前十時〜十一時半

ところ 田代公民館 対象 一歳半から二歳半くらいまでの幼児とその母親

申し込み 保健センター(☎3650)へ。先着二十五組で締め切ります。当日は運動ができる服装でご参加ください。

年金

4月1日から郵便局で口座振替取り扱い

被保険者の利便性を考え、四月一日から郵便局でも国民年金保険料の口座振替を取り扱います。

募集

休日救急医療センター 看護婦

休日救急医療センターでは休日に勤務できる看護婦一人を募集します。勤務条件や賃金など詳しくは保健センター(☎3650)へ。

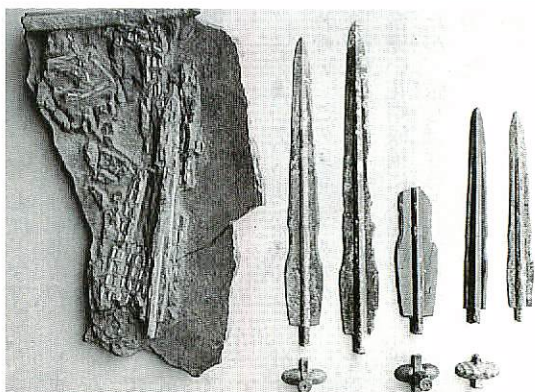
国と県のモニター

国と県では、アンケートへの回答や、国または県に対する意見・要望の提出などをしていただく各種モニターを募集しています。

モニターの種類と募集人数は▽経済企画庁「物価モニター」二人▽農林水産省「食糧品消費者モニター」二人▽通商産業省「政策モニター」一人▽佐賀県「くらしのモニター」五人。申し込みは二月十五日までに生活環境課市民相談係(☎3576)へ。各モニター

サンメッセ鳥栖で文化財成果展

玉飾漆鞘(リカ)など展示



今回展示される玉飾漆鞘、銅剣、把頭飾のレプリカ

市教育委員会で「柚比遺跡群の文化財調査」と題した文化財成果展を二月十日(土)から同二十五日(日)までサンメッセ鳥栖一階ホールで開催します。

市北部に広がる丘陵地周辺は柚比遺跡群と呼ばれ、市内でも縄文時代以降中世に至る各時代の遺跡が特に

集中する地帯です。この一帯は昭和五十二年から十年かけて遺跡群の範囲確認調査が行われたあと、鳥栖北部丘陵新都市整備事業の決定に伴い、

事前の文化財調査が平成三年度から続けられ、これまでに発掘調査が実施された遺跡の数は二十余り。調査で得た文化財資料もかなりの量に上ります。

今回は柚比遺跡群における現在までの調査成果を公開し、市民のみならず広く郷土の歴史、埋蔵文化財に対する理解を深めてもらおうというものを。写真や説明パネル、年表を使いながら、柚比本村遺跡から国内で初めて出土した玉飾漆鞘や日本最古の中細銅剣

のレプリカをはじめ、縄文・弥生・古墳時代の土器類、銅剣、銅戈鑄型など資料二百点以上を展示します。

また、二月十八日(日)午後二時から(予定)三階第二会議室で高倉洋彰・西南学院大学文学部教授や高島忠平・県教育庁文化財課長らを招いてシンポジウムを開きます。

なお、成果展期間中は来場者全員の方に、鳥栖市の歴史、文化、自然などを紹介した小冊子「とすの文化財(オールカラー・約六十ページ)や主要調査遺跡を解説した資料などを無料配布します。

詳しくは教育委員会社会教育課文化財係(☎3695)へ。

寄付

12月31日現在 (敬称略)

香典返し 社会福祉協議会へ▽松田良市(今町、亡妻シツエ)▽西依徳男(同、亡伯母重松九二)▽大塚辰雄(同、亡母千津子)▽吉次俊一(同、亡母経子)▽松隈順之助(蔵上町、亡姉一子)▽高尾昭夫(田代新町、亡妻惇子)▽東田玲子(本町、亡夫福男)▽松田和要武(江島町、亡妻美智子)▽小野嘉清(同、亡父次郎吉)▽長正勝(永吉

町、亡父正一)▽平川淳一郎(藤木町、亡父孝俊、亡母由枝)▽大久保武夫(原古賀町、亡母辰江)▽園木トミエ(元飯田町、亡夫清一)▽有馬勝(立石町、亡母トサ)▽中島眞理子(西田町、亡夫和亮)▽豊増静子(幸津町、亡夫錦典)▽檜崎賢子(山浦町、亡妻義母キエ)▽福田アサエ(酒井西町、亡夫安夫)▽原山英治(同、亡母トミ)▽轟正行(曾根崎町、亡弟輝夫)▽岡本宗郷(神辺町、亡妻キヨ子)

一般寄付

社会福祉協議会へ

▽二万八千六百十三円(学園祭の益金)：九州福祉医療専門学校(古野町)▽百万円(創立五十周年記念事業として)：(株)ニチレイ(曾根崎町)▽十万円(学園祭のチャリティーバザー益金の一部)：九州龍谷短期大学学生会(代表・竹中健一)▽五万円(松隈巧(布津原町)▽十万円(アルミ缶回収作業時の

益金)：市老人クラブ連合会(会長・松雪久俊)▽四十六万三千円(チャリティーゴルフの益金)：高尾カップ実行委員会(実行委員長・高尾賢治)▽一万四千九十一円：九州積水工業(株)(轟木町)▽車椅子二台(十七万円)：九州松下電器労働組合(佐賀支部長・西村宏明)市へ▽百万円(教育・福祉資金)：前間ヒサ子(鎗田町)鳥栖中学校へ▽黒板ふきクリーナー四台(五万円)：同校昭和四十二年卒業同窓会(代表・権

勤労青少年ホーム

講座受講生とクラブ員を募集

勤労青少年ホームでは、下表のとおり教養講座の受講生とクラブ員を募集しています。

対象者は市内に住まわたりは勤務する三十歳までの方。ご希望の方は同ホーム備え付けの申込書に、友の会会費（傷害保険を含む）二千元を添えて早めにお申し込みください。

なお、定員オーバーのときは欠員がでるまでお待ちください。詳しくは同ホーム（☎4780）へ。

講座・クラブ	期 日	定員	教 材 費	受 講 料
料理教室	4月から1年間 36回（火曜日）	30人	月2,250円 （1回750円）	月400円
生け花教室	36回（金曜日）	30人	月2,250円 （1回750円）	月400円
茶道教室	36回（水曜日）	15人	月 500円	月400円
陶芸教室	24回（木曜日）	15人	月1,100円	月400円
編み物教室	36回（月曜日）	15人	実 費	月2,000円
きもの着付教室	4月から4か月 10月から3か月 各12回（月曜日）	15人	—	—
かな習字教室	4月から1年間 24回（金曜日）	15人	月 600円	月400円
社交ダンス教室	10月から3か月 12回（金曜日）	30人	—	—
バドミントン教室	4月から6か月 12回（木曜日）	30人	—	—
ダンスクラブ	毎週火・金曜日			
卓球クラブ	毎週水・土曜日			
空手クラブ	毎週月・木曜日			

◎講座の開講時間は午後6時から8時まで、クラブは午後6時から9時まで

四月七日（日）桜満開の田代公園一帯で開かれる「第九回とす弥生まつり」へ参加する団体・個人を募集します。

参加は、ふれあいバザール（テント村）、弥生ロードウォーキング大会、史跡めぐり、弥生土器焼き、弥生仮装コンテスト、鳥の鳴き声コンテストのほか、団体やサークルのPRとともに市民が参加でき

第9回とす弥生まつり 参加団体・個人を募集

企画なら何でも自由です。参加申し込みは二月二十九日までに市観光協会（☎8415）へ。

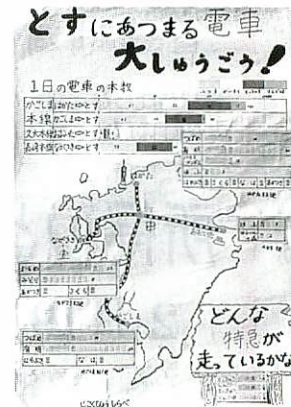
弥生まつりは、市民のみなさんに鳥栖の自然と歴史を理解してもらいながら「ふるさと鳥栖」のよさを再発見してもらおうと開いているもので年々、市民の間にも定着してきました。

統計グラフィコンクール入賞者 特選は岡くん（若葉小）、尼寺さん（鳥栖小）

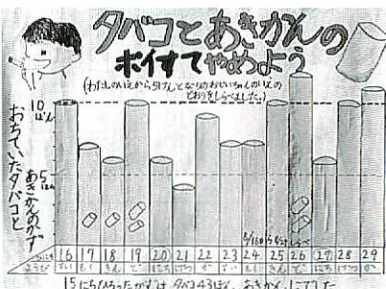
鳥栖市統計グラフィコンクールの審査が終わり、特選に岡龍彦くん（若葉小三年）の「とすにある電車大しゅうごう」と尼寺那佳子さん（鳥栖小一年）の「タバコとあきかんのポイすてやめよう」が選ばれました。また、両作品はこれに先立って行われた県コンクールでも入選しました。

そのほかの入賞者は次のみになさんです。

【小学校低学年の部】入選「若葉小のまわりはきれい？きたない？」天本有紀、村井恵美、西山枝里（合



岡くんの作品



尼寺さんの作品

作・若葉小三年）【同高学年の部】入選「元気で力強い体を作ろう」古賀礼華、天野友里恵（合作・若葉小四年）▽「あなたの食生活は？」星野亜紀子、鳥實梓（合作・鳥栖小五年）▽「将来の道」紫村聡美、梅梢、古沢今日

子（合作・同）▽「小学生は習い事に大忙し」森智代、川崎菜穂美（合作・同）▽「夏休み大好き」山口祥子、小芦彩華、甲斐美咲（合作・同六年）



ロードレース大会結果

●第8回高校生鳥栖10キロロードレース大会（参加三百十一人）

①佐藤功二（九州学院高校、30分31秒）②織田泰聡（大牟田高校）③徳永勝（同）④矢野敦嗣（同）⑤鈴木武道（福岡大附属大濠）⑥井上大輔（崎工業）⑦村上健（大牟田高校）⑧大和一勝（同）⑨土谷

修（同）本園泰隆（同）

●第34回鳥栖市祝成人ロードレース大会（同八百二十二人・一位以外市内入賞者のみ）

【一般10キロ】①永瀨和行（佐賀郡、31分22秒）⑤舟木正明（養父町）【市内一般】①舟木正明（養父町、33分16秒）②山津茂樹（加藤田町）③真子寛盛（山都町）④森良輝（鎗田町）⑤佐藤敏秋（神辺町）⑥坂本満（宿町）【高齢者5キロ】①藤家迪雄（鹿島市、19分13秒）【壮年5キロ】①大久保求（北九州市、17分29秒）⑥林保守（藤木町）【一般女子5キロ】①川崎真理子（小城郡、19分47秒）【中高生女子5キロ】①浦田和美（松橋高校、17分28秒）【中学生5キロ】①飛松誠（田代中、15分50秒）③荒木稔（同）④丘陵充（同）

いけいけ！ フューチャーズ

鳥栖フューチャーズは一月十六日、今季の新人入団選手を発表しました。

新加入するのはセレッソ大阪のFWホルヘ・バルデスをはじめ、ヴェルディ川崎からブランドル仙台にレンタル移籍していたFW阿部良則（期限付き移籍）とDF河本充弘、DF鈴木俊川崎、MF上原エドウィン浦和、MF田中哲也神戸、FW島岡健太関西大学、MFフェルナンド・パチスタアルゼンチンの外国人選手二人、新人一人を含む八選手。昨季の課題だった攻撃力、得点力アップを狙った補強です。

特にバルデス選手は九三、九四年の二年間、JFLの東芝に在籍、二年連続でJFL得点王に輝きました。昨年はセレッソ大阪に移籍、三十一



県総合運動場でコーチの指導を受ける選手たち

試合に出場しチーム最多の十九得点をマーク、川崎のアルシンド選手と並ぶJリーグ得点ランキングで十一位の成績を残しています。

一八二センチの長身を生かしたヘディングと柔軟性のあるプレーが魅力で、フューチャーズの得点力アップは間違いなく、その活躍が楽しみです。

チームでは外国人選手を含め、あと数人の選手を獲得する予定で、さらに戦力強化を目指します。

また、既に契約を済ませている今岡、森保ら各選手は一月中旬から県総合運動場で合同自主トレを開始。Jリーグ昇格に向けて二月から新加入選手も合流し本格的な練習が始まります。

12 バルデス(セレッソ大阪)ら加入で攻撃力アップ

中世山城と筑紫氏

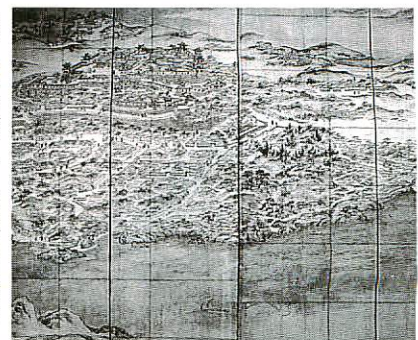
Vol.44 八女時代 その四

天正十八年（一五九〇）、国内で最後まで残っていた反豊臣勢力の北条氏を降伏させ、全国統一を完成させた秀吉は翌十九年九月、全国に諸將に対して朝鮮出兵の命を下し、朝鮮出兵の基地として肥前名護屋に名護屋城を建設、本営とします。この名護屋城を中心に、およそ百三十におよぶ全国の諸大名が参集し、陣屋を構えます。

天正十五・十六年、肥後国人一揆鎮圧に出陣した筑紫広門も朝鮮渡海の武將として第六軍小早川隆景に属し出兵します。

この時の陣立書が福岡黒田藩の「黒田家譜」に示されています。

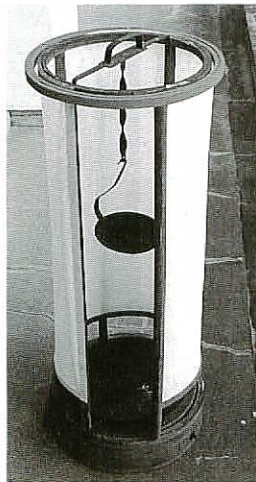
- 一番
 - 一、五千人 羽柴対馬侍従
 - 一、七千人 小西撰津守
 - 一、三千人 松浦刑部卿法印
 - 一、二千人 有馬修理大夫
 - 一、千人 大村新八郎
 - 一、七百人 五嶋大和守
 - 合壹万八千七百人
 - 二、一番から五番省略。
 - 六番
 - 一、壹万人 羽柴小早川侍従
 - 一、千五百人 羽柴久留米侍従



肥前名護屋城図屏風（県立博物館蔵）

一、二千五百人 羽柴柳川侍従
一、八百人 高橋主膳
一、九百人 筑紫上野介
合壹万五千七百人

広門の属する第六軍は筑前・筑後の武將で編成されていることがわかります。



上方でよく使われた丸行灯

として発達。その形状やデザインも多様化しますが、その形状は「江戸の角行灯、上方の丸行灯」の二つに大きく分けられ、

すきま風が多かった日本家屋では、裸火だと焰が揺れ動いたり、吹き消されるため、油皿の周囲に角型や丸型の枠を作り、紙をはって風を防ぎました。これが「行灯」です。行灯はその名の通り、もとは手に提げて持ち歩いたものでしたが、携帯用として燭燭を灯す手燭や提灯が普及すると、室内用

種類は「置行灯」「掛行灯」「釣行灯」など多くのものが考えられました。置行灯はもっぱら室内や商店の店先に置かれ、掛行灯は杜寺の参道などに灯籠がわりに掛

けておいたものです。釣行灯は湯屋（風呂屋）や居酒屋などを照らすもので、広く照らす「八間」（高い所につり下げて八間四方を照らす釣行灯）も考案されています。辻行灯は街路灯のことですが、ほかに寝室の枕元に置き終夜灯し続ける「有明行灯」などもありました。

行灯にはいろいろな工夫が凝らされていることから、現在でも形を真似た「電気スタンド」などが多く見受けられます。

VOL.72 ● 行灯

消えゆく民具

【生活用具編】

平成2年に安全宣言・日住病

ジストマ、腹満と呼ばれ、「佐賀に奇病あり」と悪名高かった日本住血吸虫病。平成二年三月三十日、佐賀、福岡両県などで構成する筑後川流域宮入員撲滅対策連絡協議会は「中間宿主である宮入員が八年間発見されず、厚生省基準の無病地認定を満たしている」として日住病の安全を宣言。これを受けて同日、県と県内の有病地域だった鳥栖市、北茂安町、三根町は四者主催で記念式典を開き、日住病の終息を祝いました。

日住病は筑後川流域のほか山梨県、広島県、利根川流域



昭和44年、宝満川の洪水敷にセビン剤を散布する地元の人たち。この薬剤がかかった草を宮入員が食べると死ぬ

に特有の風土病で、佐賀県では明治の前からあったと言われています。感染すると四十度の高熱が続き、日に日に衰弱して、ついには腹に水がたまって死亡したり、肝臓や肺などに寄生することもあります。また、子供のころにかかって発育が止まった例もあります。この病気があるばかりに、これらの地方では「嫁のもらいてはなし、また、嫁に行こうにも恐ろしくて行けず、田植えにも来てくれない」とさえ言われました。

大正九年二月、故宮入慶之助九大教授らは基里村酒井の

小溝で細長い新種の小巻貝を発見、この貝が吸虫の中間宿主であることを突き止め、その根絶こそが病気撲滅の根本対策



沼地のアヤマに付いた宮入員 (昭和34年ごろ)

であることが判明。この貝は教授の名を冠し「宮入員」と名づけられました。

日住病患者や牛、犬など動物の大便の中に出てきた吸虫の卵はやがて孵化し、ミラシ

ジウム(子虫)になって宮入員を求めて水中を泳ぎます。貝に入ると約三千匹のセルカリ

ア(幼虫)に分裂成長し、水温が十五度以上になると貝を抜け出て、水中を泳ぐうちに人間などの哺乳動物の皮膚から体内に侵入するという循環を繰り返すことが分かりました。

宮入員の撲滅事業が本格化したのは戦後。洪水敷への薬剤散布、シスト反応検査や検便などの住民検診、延べ二百二十六*にわたる用水路のコンクリート化、大規模な生息

調査などが進められました。患者届け出が義務づけられた

昭和三十二年から最後の患者が出た五十一年までに鳥栖市では千四百四十三人もの患者を出し、二十八人が亡くなっています。

しかし、この撲滅事業によって、昭和五十六年十二月に江島町沼川上流の畑で宮入員が発見されたのを最後に、これまで一個も発見されておらず、新患者も五十二年以降発生していません。

DISCOVER TOSU

ふるさと再発見

vol. 8



市の木もちのき (クロガネモチ)

市の花 ハナショウブ

市の鳥メジロ

人口	平成8年1月1日現在 ()内は前月比		
総数	男	女	世帯数
56,711(+65)	27,133(+39)	29,578(+26)	18,078(+24)

2月の納税

固定資産税(4期分)
国民健康保険税(9期分)

納期限●2月29日

水道の修繕

鳥栖市管工事協同組合 ☎84-2500

●水道の修繕はすべて上記へお申し込みください